

第1回デジタル交通サービス導入推進協議会

田原本町における自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの検討について

田原本町 企画財政課

田原本町について



面積

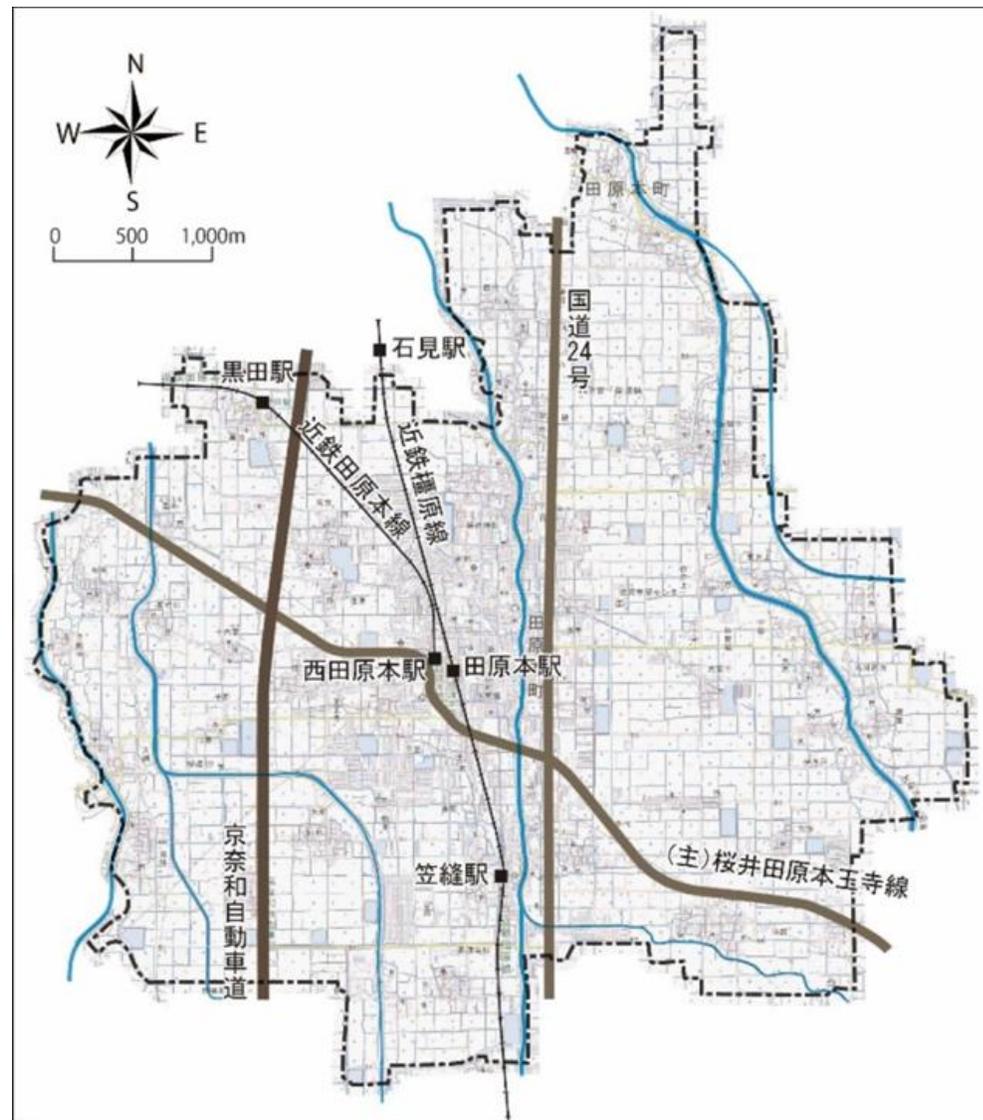
21.09km²



奈良盆地中央部の河川に挟まれた平坦地である。
比較的狭小な町域であり、生活圏を他市町と共有している。

町の中央部を国道24号、西部を京奈和自動車道が南北に
縦断し、鉄道面では近鉄田原本駅から奈良市へは30分、
大阪・京都へ1時間でアクセスできる交通利便性が高い
地域である。

田原本町には日本最大の本格的な環濠集落遺跡である
「唐古・鍵遺跡」があり、平成30年に唐古・鍵遺跡史跡公園
がオープンした。また隣接地には道の駅「レスティ唐古・
鍵」が同時期に開業している。

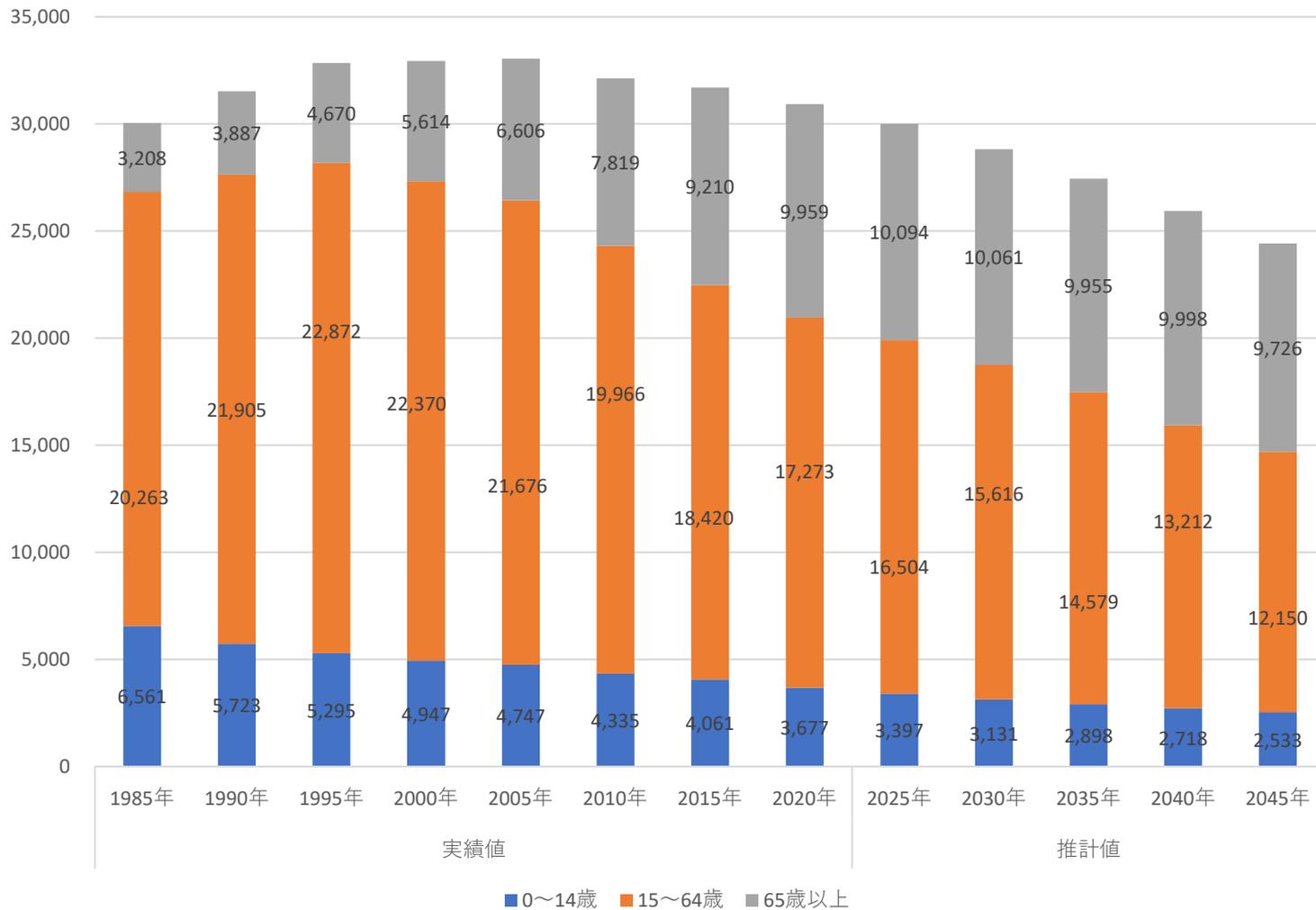


田原本町について

人口 世帯数 高齢化率
31,716人 13,278世帯 31.8%
(いずれも令和4年4月1日現在)

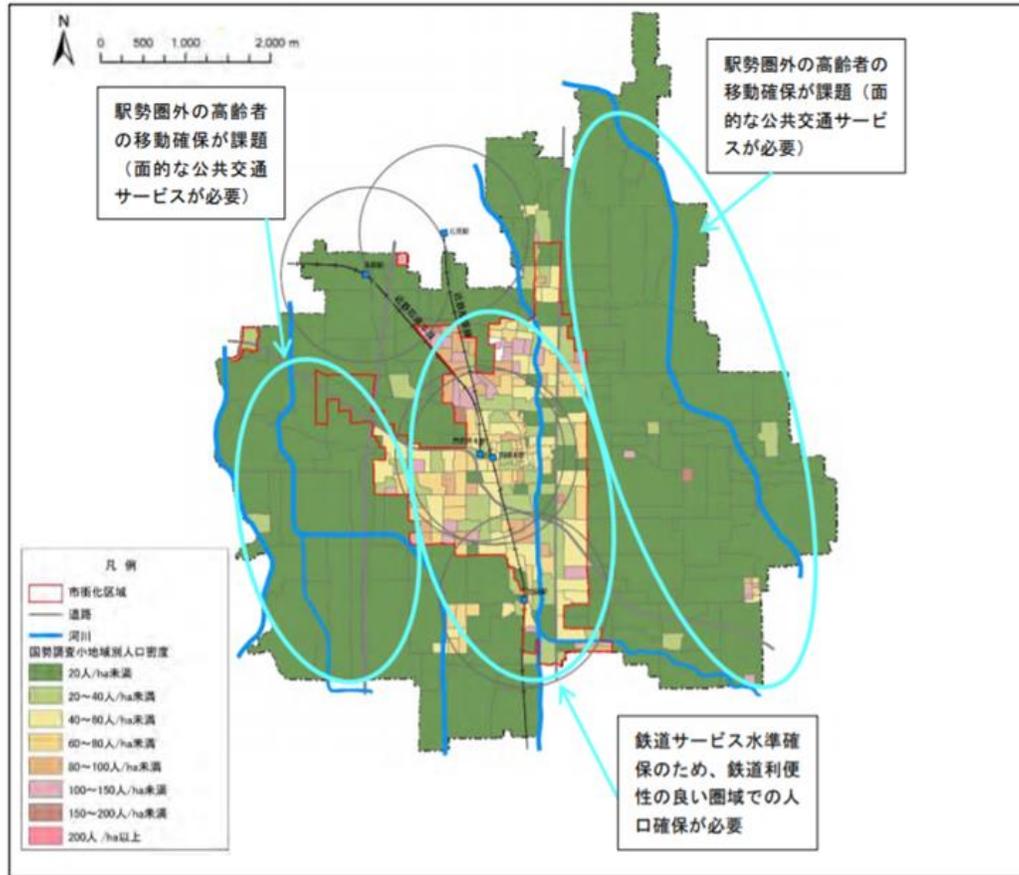
田原本町の人口は大阪・京都への通勤者のベッドタウンとして住宅開発が進み、ピーク時には33,000人を超えていた。しかし、近年の人口減少・少子高齢化の影響を受け、急速な高齢化が進み、生産年齢人口(15歳～64歳)の減少も著しくなっている現状である。

田原本町における総人口の推移

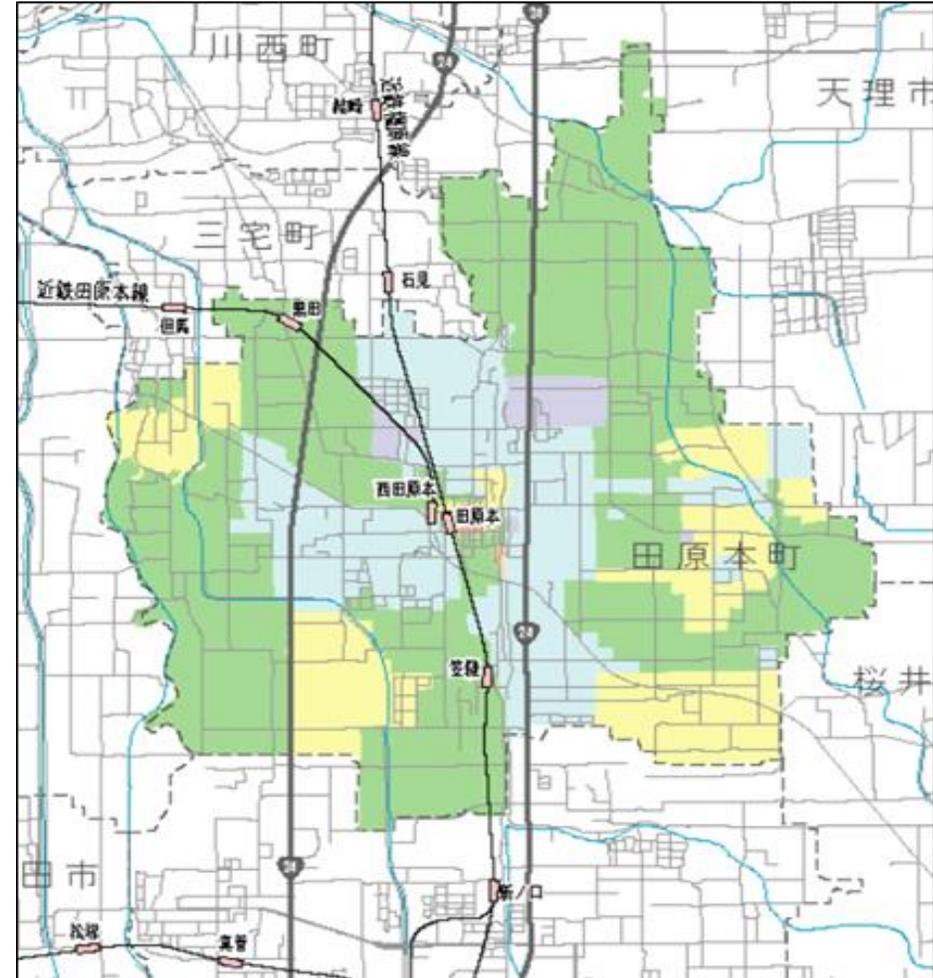


田原本町の公共交通における課題

公共交通空白地域の存在



各地域における高齢者人口の比率



実証予定地域における課題

◎青垣生涯学習センター

(図書館や考古学ミュージアムを含む複合型施設)

R2図書貸出者数約10万人

R3考古学ミュージアム利用者約6千人

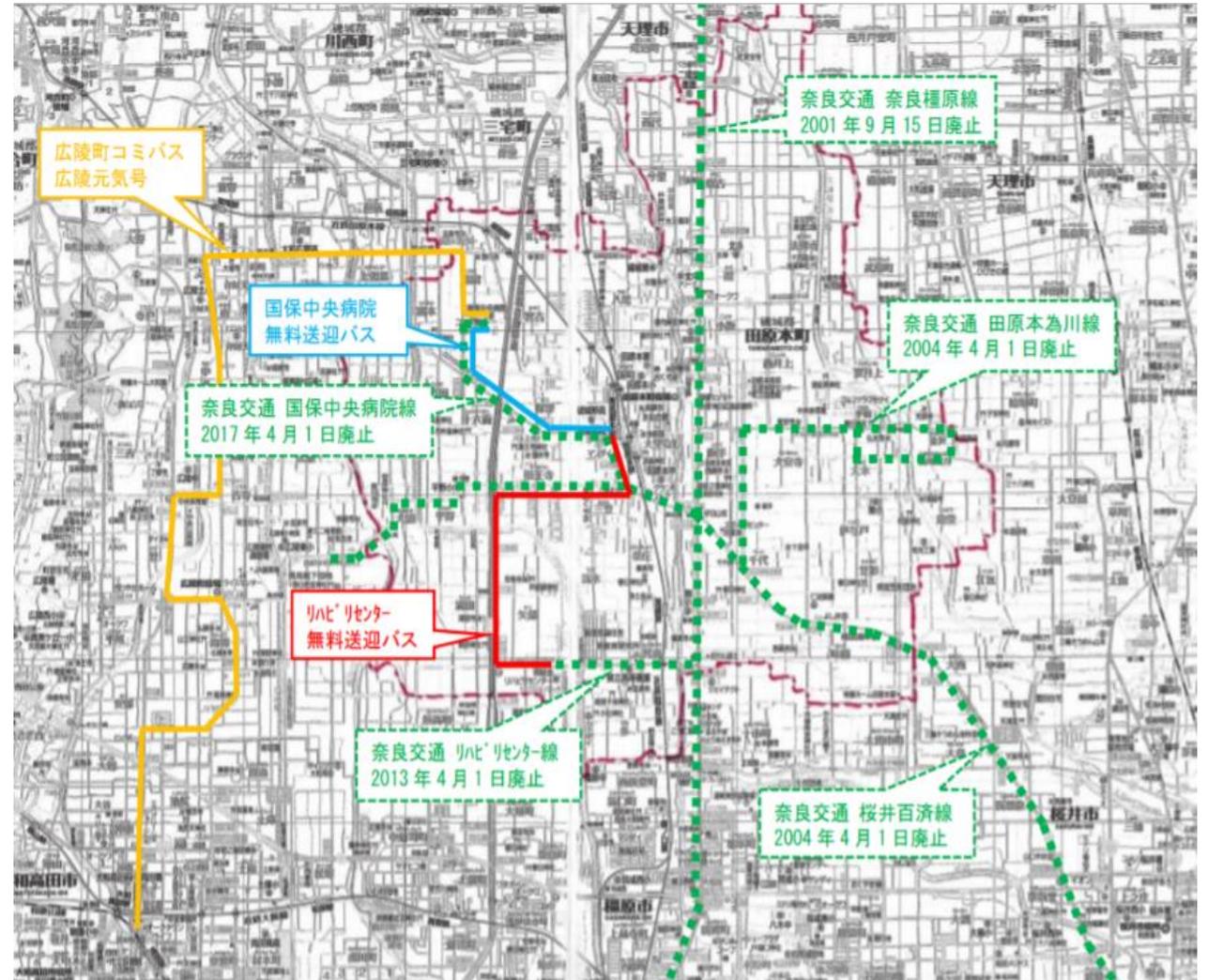
◎道の駅レスティ唐古・鍵(唐古鍵遺跡史跡公園)

R3道の駅来場者数は約25万人

R3史跡公園来場者数は約10万人

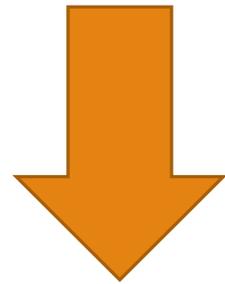
町内主要施設等の利用者のほとんどが
自家用車での来訪となっており、
来訪者向けの交通手段がタクシー以外
に存在していないのが大きな課題である

田原本町で廃止されたバス路線等



デジタル技術を活用した交通サービスの必要性

- ・来訪者向けの交通手段がタクシー以外に存在していないこと
- ・町内交通事業者におけるドライバー不足
- ・町施策事業による財政負担の問題等



課題解決に向けて

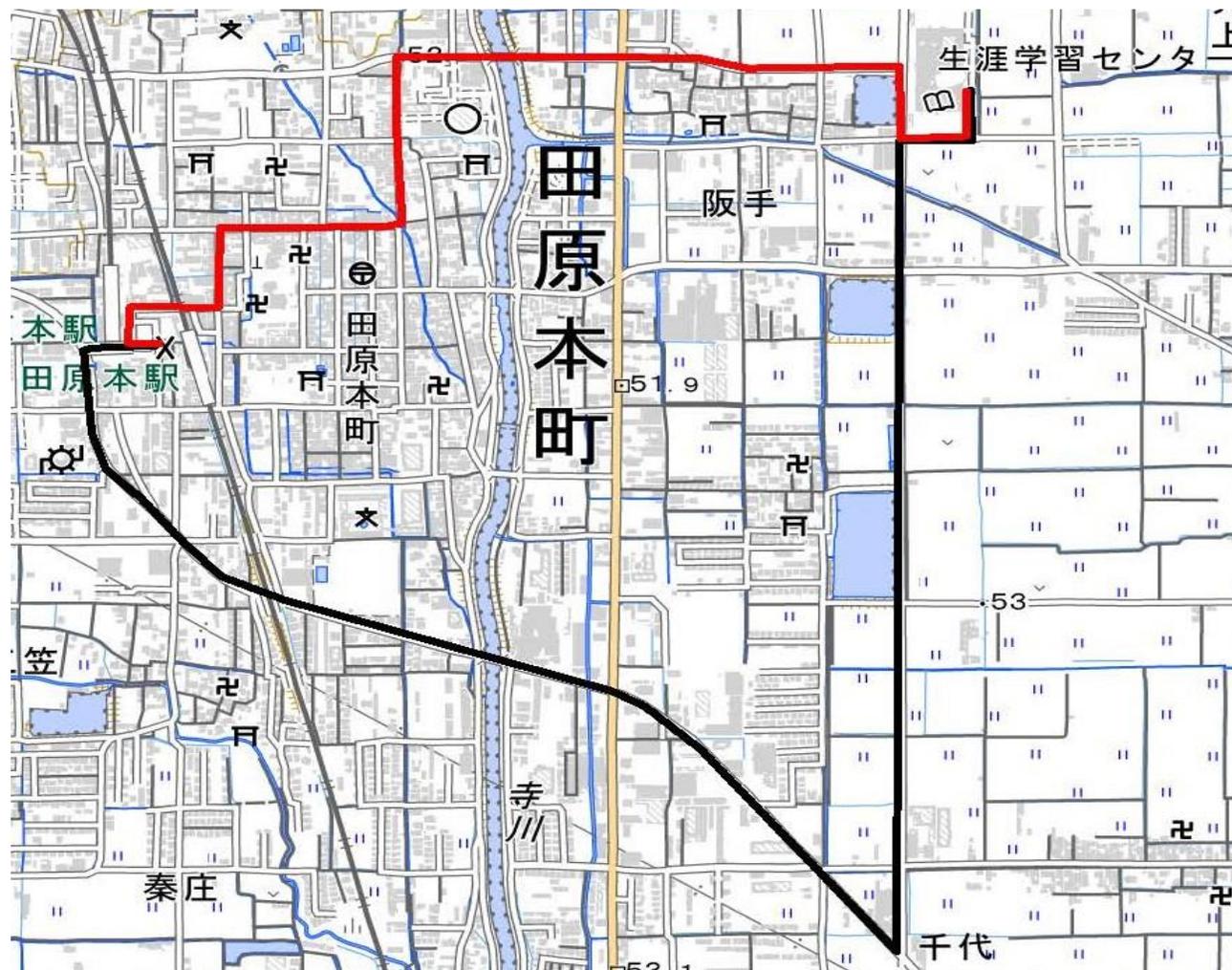
将来にわたり、持続したサービスを充実させるため、
町内主要拠点における自動運転実装を検討

実証実験の実施予定内容

走行ルートについては田原本駅～青垣生涯学習センター～道の駅レスティ唐古・鍵を想定

【田原本駅～青垣生涯学習センター】

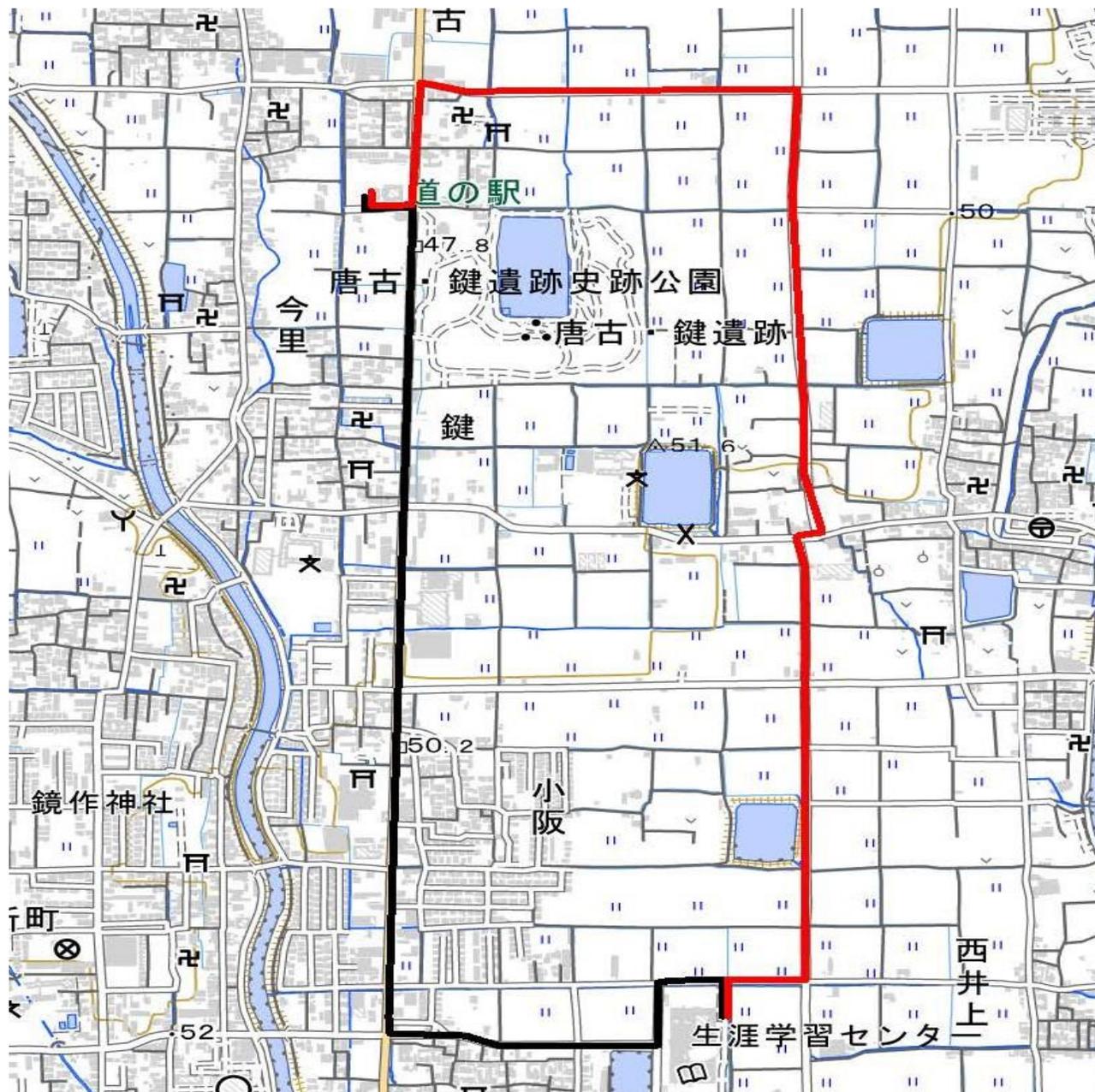
- ・A案(赤線)
(駅付近の狭隘な町道を通るルート)
- ・B案(黒線)
(県道から町道を通るルート)



実証実験の実施予定内容

【青垣生涯学習センター
～道の駅レスティ唐古・鍵】

- ・A案(赤線)
(町道を通るルート)
- ・B案(黒線)
(町道から国道を通るルート)



実証実験の実施予定内容

【主な検討事項】

- ・車両については、乗用車を想定しているが、自立型、電磁誘導型等どちらが導入可能か。
- ・現在の技術において、駅周辺の狭隘な道路において自動運転可能かどうか。
- ・将来的に公共交通網を引いていくとすれば、様々なシチュエーションが予想され、自転車や歩行者がひしめく道で安全の面から実施可能かどうか。
- ・将来的に青垣生涯学習センター付近にサッカー場が建設されれば、駅からセンター(スタジアム)への輸送需要が多く見込まれることを見据え、どのようなルート、どのような車両で自動運転の実証実験を行うことが望ましいか。

【今後のスケジュール】

R5.1月 第1回協議会開催(本日)

R5～ ニーズ・課題抽出

R6～ 実装に向けた調査